

祝！ママさんバレーボール全国大会出場！！

くいざ！全国の舞台へ！



▲全国大会に出場するメンバー

多久市ママさんバレーボールチームが、5月19日に行われた「第25回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会」の佐賀県地区予選大会で見事優勝を果たし、全国大会へのキップを手にしまし

た。

この大会の出場資格は、50歳以上のプレイヤーで構成されたチームとなっており、南多久町バレーボールチームと多久町の多久もみじの50歳以上のメンバーで構成されています。

チームは、攻撃型のチーム。セッターの小路美代子さんが、状況に合わせて絶妙のトスを上げ、エースの馬場美津子さんを中心に5人のアタッカーで点を取っていくスタイルです。攻守の要はキャプテンの北島かおるさん。チームの盛り上げ役としても大黒柱的な存在です。

監督の原口洋子さんは「全国大会を勝って、いい思い出を残したい。今のチームは全国でも

勝てるチーム。今回は期待しています」と全国大会に向けての意気込みを話されました。「決勝トーナメントに出れるようにがんばりたい」とキャプテンの北島さん。みなさんは「おいしい餃子で祝杯をあげよう！」と意気込まれていました。

指導をされている不二見純之さんは「レシーブが大分よくなったが、まだまだ」とこれからの課題を話されました。

第25回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会（一般社団法人全国ママさんバレーボール連盟主催）は、栃木県で11月8日から10日の3日間の日程で開催。全国各地から予選会を突破した精鋭チームと対戦します。

南三陸通信 Vol.4



東日本大震災復興支援として、宮城県南三陸町へ現在派遣している白武和磨主査からのお便り第4号です。

7月末に、UR都市機構と正式に契約した飛島・大豊・三井共同建設コンサルタント南三陸町震災復興事業共同企業体が、準備期間を経ていよいよ本格的工事に着手しました。

作業が益明けから始まり、造成箇所は樹木が生い茂っていたのですが、あっという間になくなりつつあります。

町民のみなさんも、いよいよ始まったという実感をもたれているようです。樹木の伐採が済み、工事用の仮設道路などを整備すれば、いよいよ切土(造成)工事が始まります。この切土を用いて、津波が来ても大丈夫なように、低地部で土地区画整理事業を行う箇所の盛土工事を行います。秋にかけて土地区画整理事業も工事着手となります！

多久市消防団

防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞



▶市長に受賞の報告をした陣内成和団長

昨年7月の九州北部豪雨での水防活動の功績が称えられ、多久市消防団が防災功労者として内閣総理大臣表彰を受賞し、9月5日、陣内成和団長が市長に受賞報告を行いました。

9月2日月曜日に総理大臣官邸にて行われた表彰式には多久市消防団を代表して、陣内団長が出席し、表彰を受けました。防災功労者は9月1日の「防災の日」にちなみ、防災思想の普及や防災体制の整備に尽くした団体・個人に贈られるものです。

多久市消防団は、平成24年7月の九州北部豪雨の際に、4日間で延べ318人が出勤

し、降り続く豪雨の中、水防活動や住民の避難誘導、土砂崩れ箇所の被害防止活動などを展開したことを受けての受賞です。

陣内団長は、「団員の活躍のおかげです。市民のみなさんの安心・安全のために今後とも多久市消防団全力で活動に取り組んでいきます」と市長に報告しました。



▶総理大臣官邸での表彰後の様子